

令和3年10月20日

第36回生薬に関する懇談会で配布します研修シールにつきまして

日本生薬学会 関東支部長

松 崎 桂 一

(公社) 東京生薬協会学術委員長

山 内 盛

この度は、「第36回生薬に関する懇談会」にお申し込みいただき、ありがとうございます。

この懇談会は、我が国において漢方薬をはじめ医薬品に欠かすことができない生薬について、毎回1つの生薬に焦点を当て、生産から臨床まで深く理解しようという試みで始まった他に類のないもので、薬剤師の生涯研修の場として毎回多くの皆様方にご参加いただいております。しかし、昨年はCOVID-19感染症の影響で本年に延期しました。さらに2年続けての延期は皆様方のご期待に添えないのではないかと考え、今回はZOOMを利用したオンライン開催としました。

薬剤師の生涯研修の場として薬剤師研修センターに申請しておりましたが、ご存知の通り薬剤師研修センターの研修システムの電子化への移行が来年4月に延期することが発表され、今回のオンライン開催で新システムを利用した研修シールの配布が不可能となりました。今回は、公益社団法人薬剤師認定制度認証機構より薬剤師研修センターと同等の研修プロバイダーとして認定されております日本大学薬学部（認証番号G17）にこの懇談会を生涯教育研修として認定していただきました。今回受講された方には日本大学薬学部の受講シールを配付いたします。公益社団法人薬剤師認定制度認証機構の認証を受けております各プロバイダーの認定単位には互換性があり、他のプロバイダーの単位も所定の単位数に組み入れることができます。多くの場合、所定単位の半数以下まで他のプロバイダーの単位を使用できます。なお、研修単位受講シールの配付を厳格化するため、発行番号と薬剤師免許番号を紐づけることとなっております。

今回の懇談会においては講演中に複数回キーワードを表示します。受講終了後、研修シール希望の方は所定の方法で、キーワード全てを回答し、全てのキーワードを正しく回答していただいた方に受講証明書と研修シールを後日配布します。

研修シールを希望される方には大変なご不便とご迷惑をおかけしますが、状況をご理解くださりますようお願い申し上げます。

以上

【公益社団法人薬剤師認定制度認証機構】

<http://www.cpc-j.org/>

【日本大学薬学部が発行する受講シールについて】

<https://www.pha.nihon-u.ac.jp/longlife-learning/>